



## TAJ タージ 「年末支援・南三陸町戸倉地区にお餅届けよう」支援報告

今年で4回目となる「南三陸戸倉地区へお餅届けようプロジェクト」は、12月12日から12月21日までお餅の受け付けを致しました。地区内7か所仮設住宅の世帯数は、昨年より58世帯減少し、189世帯分を目標に皆様への支援をお願いしておりましたが、最終的に129パックのお餅と、昨年を上回る支援金が集まり、不足分のお餅も現地の商店で購入し、7か所全ての仮設住宅(西戸、水戸辺、津の宮、波伝谷、戸倉中学、神割崎、志津川自然の家)に加え、いつもボランティアを支えてくださる民宿などに、12月27-28日に無事に直接お届けすることができました。

最終収支は別紙添付の通りで、40万円を超え、発送、配送代で使わせていただいた残金は、2017年以降に南三陸で高台移転が実現した折には、杵と臼を寄贈して、被災前の年末の風物詩であった集落での餅つきを復活するお手伝いをしていきたいと考えています。



毎年のことですが、重たいお餅をこんなにたくさん持ち込んで下さったみなさまに、深く感謝いたしますとともに、現金のご支援をして頂いた皆様の気持ちを現地の方々にお届けすることができましたことをご報告申し上げます。

また、今回は私どもメンバーが12月13・14日、12月20・21日とチラシの配布と支援金の募金活動を茅ヶ崎駅の北・南口で行ったほか、相模原市の「みんなの家」様、ちがさき市民活動サポートセンター、南口商店街、市内の店舗数か所での募金箱の設置、チラシ張付を引き受けただけ、さらに多くの方にこの活動を知って頂くことができました。ご支援いただきました皆様にご心よりお礼申し上げます。

南三陸町戸倉地区は現在、漁業、建設業を中心に少しずつですが確実に復興の道を歩んでいます。漁業においてもわかめ、牡蠣、ホタテの養殖などが再開し、2015年春からは国の支援も終わり個人漁業の再開など復興に向けて力強く立ち上がろうとされています。しかし、津波による甚大な被害を受けた平地は土地のかさ上げ事業が始まり、やっとできたコンビニも立ち退きなどで撤退し、物品の購入が再度困難になるなど、仮設住宅でのご不便な生活が続いています。

そのような中、この様な形でも現地の皆様とかかわり続けていけることを探して活動を続けて参りますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2015年1月 Team Aid for Japan 代表 久我真、「お餅プロジェクト」担当 平野 努

